

公立幼稚園 廃園問題

市民の声を聞かないで 12月市議会に 市長が **大久保幼稚園** 廃園条例を提案

廃園ストップ。3年保育の実施を



大久保幼稚園

公立幼稚園の廃園方針を市が打ち出すなか、保護者らが「大久保幼稚園を守る会」を結成、一月足らずの期間に8653筆の反対署名を集め、市長と教育長に提出されました。また「幼稚園の廃止しないで」という内容などの請願署名5189筆（保育運動連絡会）が、11月30日提出されるなど、幼稚園廃園反対の世論が広がっています。

「幼稚園廃園やめて！」の声 保護者らが8653筆の反対署名

公立幼稚園の廃園計画に対して、保護者らから8653筆の反対署名、地元区から反対要望書がだされ、また「廃止しないで」との請願署名5178筆が市議会に提出されるなど、市民から幼稚園廃園反対の世論が広がっています。こうした声を無視するかのように、市長は12月1日、大久保幼稚園を19年3月末で廃園にする条例案を提案しました。市民の皆さん、力合わせて、幼稚園廃園をストップしましょう。

また、地元の大久保区からも抗議・反対の文書

が提出されています。

大久保幼稚園、19年廃園 市長が廃園条例を提案

こうしたなか、市長は12月定例会（12月1日開会、12月26日閉会）冒頭の12月1日、4園ある公

市民にとって重要な条例・決定であるのに パブリックコメントをせず、提案を強行

行政が政策を実施するため、条例・規則等を決めようとする際に、あらかじめその案を公表して、広く市民から意見・情報を募集する手続が、パブリックコメント制度（意見公募手続）です。市は今年、手話言語条

例や駅周辺バリアフリー計画など7件のパブリックコメントを実施しています。公立幼稚園の廃園という、保護者の権利に関わる重要なことであり、条例を改廃するという重要な議案を提案する前に、

市民のみなさんの意見募集するのは当然です。ところが、市民の意見を聞かないで廃園を強行しようとしています。



立幼稚園（大久保・木幡・東宇治・神明）のうち、大久保幼稚園を19年3月末で廃園にする条例案を提案しました。今後この条例案は文教福祉常任委員会（12月18日）などで審議されます。市は、19年度に大久保幼稚園を廃園するとともに、東宇治幼稚園で

いまやるべきは 3年保育・預かり保育、 幼稚園の充実です

市は公立幼稚園の廃園の理由を、4園の園児数が減少しているためとしています。

そもそも公立幼稚園で園児数が減少したのは、

民間幼稚園では実施している「3年保育」や「預かり保育」を行ってこなかったからです。

保護者からも長年強い要望があつたにもかかわらず、幼稚園を充実せず廃園することは許されません。

まずは、3年保育、預かり保育を直ちに実施するなど充実することこそ市長の責任ではないでしょうか。しかし、市長は市民意見を聞かずに強行しようとしています。



年保育を試行実施。また18年度から神明幼稚園と木幡幼稚園で預かり保育を試行実施するとしています。市は今後さらに他の幼稚園の廃園も検討しています。

みなさんと力合わせて、廃園ストップ！



みず たに 俊 水谷 修



みや もと 繁 宮本 繁夫



やま さき 謙一 山崎 恭一



さか もと ゆう子 坂本 ゆう子



わた なべ 俊三 渡辺 俊三



やま さき たすく 山崎 たすく



おお かわ 直幸 大河 直幸

日本共産党
宇治市議員団
だより 2017.12

電話 0774-22-3141 (市役所代表)
(内線2817 市議団控室)

FAX 0774-24-7884